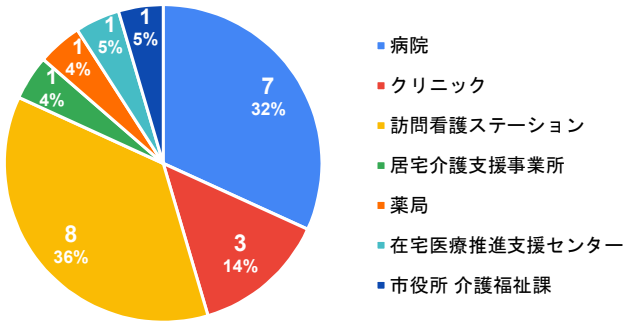
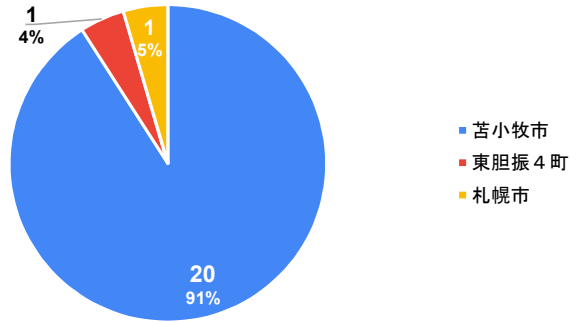


令和3年10月26日 第1回在宅あるある会 参加者アンケート

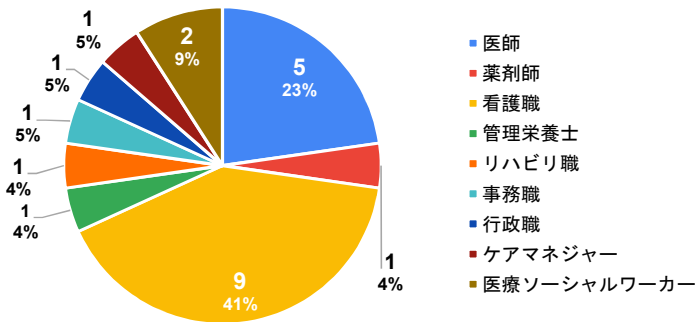
問1 該当する所属機関を1つだけお選びください。



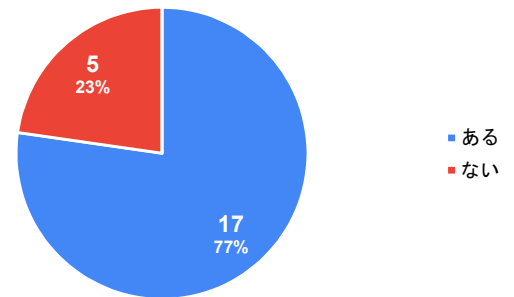
問2 所属機関の地域を選択してください。



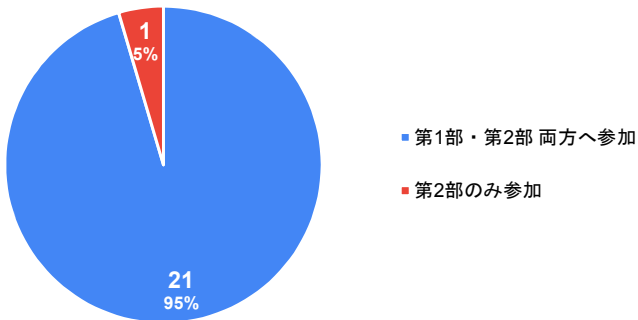
問3 該当する職種を1つだけお選びください。



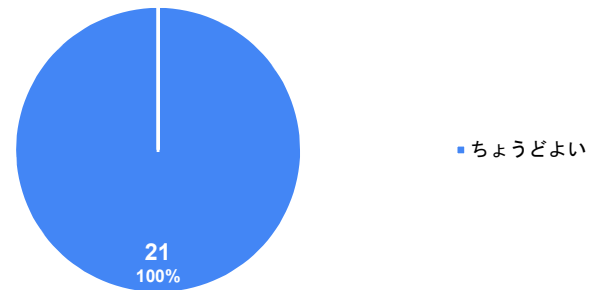
問4 この一年間で在宅医療にかかわったことがありますか。(依頼や退院時カンファレンスへの参加を含む)



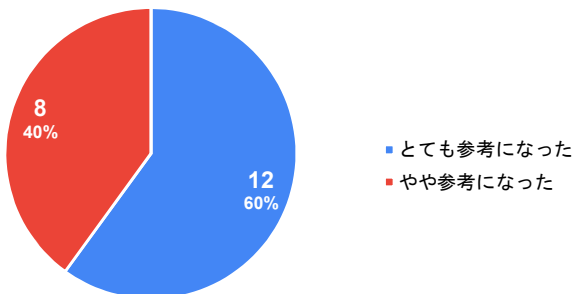
問5 参加状況をお知らせください。



問6 第1部（テーマ研修）の時間はいかがでしたでしょうか。



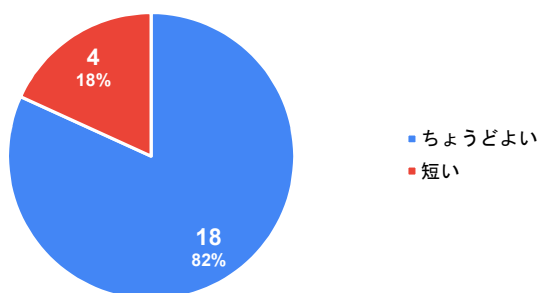
問7 第1部テーマ研修「在宅医療同行訪問研修、主治医・副主治医制（代診制）の現状」は、参考になりましたか。



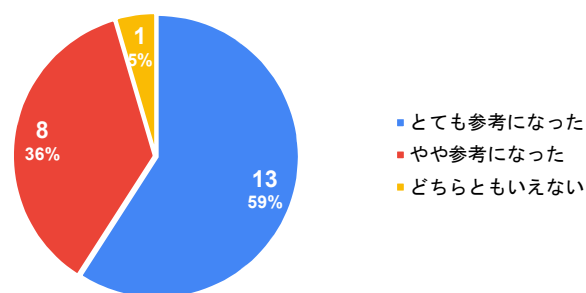
問8 問7の回答を選択した理由について、具体的に教えてください。

①行政からの補助金制度の活用が思ったより広いことがわかった。
②急性期病院のドクターに対して、退院先の選択肢として在宅医療があるということをもっとアピールする必要があると理解できた。
③さらに積極的に多職種連携を強化し、お互いに顔の見える関係を築いていく必要性を痛感しました。
Dr.目線での話を聞いたのは初めてなので、また現状を詳しく知れたので良かった。
イメージが湧いた
どのような流れで主治医・副主治医と連絡を取るかを知りたい
現状を知ることができたため。
今後、どのような形で普及されていくことが理想かイメージがわいた。
在宅医療の推進にあたり課題抽出し勉強会を行っていることや代診体制についての知識等、様々な情報を得られたこと。
在宅医療同行訪問研修の具体例
代診制のイメージが変わった。
報酬が発生するのなら先生たちも依頼しやすくなればいなあとと思います。
訪問診療を行う負担感を少しでも減らしていける方法なのではないかと思いました。
北海道の在宅医療提供体制強化事業に関するところがよかったです

問9 第2部（在宅あるある懇談会）の時間はいかがでしたでしょうか。



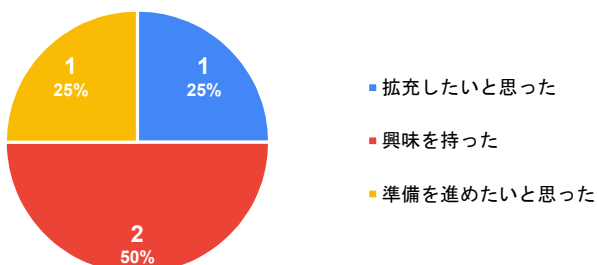
問10 第2部在宅あるある懇談会は、参考になりましたか。



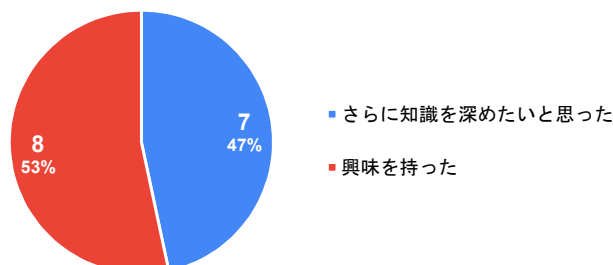
問11 問10の回答を選択した理由について、具体的に教えてください。

Dr.やNs.から話を聞くことがないため
ケースの紹介を聞き、在宅のよさを知ることができた。
それぞれの発表がとても素晴らしかったです。もう少し参加者の皆さんとのディスカッションを聞きたかったです。
家族や本人の思いに寄り添う例を知れた。
具体例のため鮮明に見えた
現場で起きていること またそれらを支えている多職種の方のモチベーションになっていることを知れたこと また食べさせる 食べさせないということに関して両方の意見が出たことも良かったです
現場の話が聞けたから
在宅に関心が少ないと敷居が高いんだなあと。この機会に関心を持った方が増えますように
事例が良かった
多職種の関わりを知る事ができたため。その人らしい生活が送れたように感じられた。
退院後、その方がどのような生活をされているのかわからないことが多いので、懇談して頂ける場があるのは関わった事例でなくとも、参考になりました。
大変刺激になりました。

問12 医師の方にお伺いします。今回の在宅あるある会（情報交換会）に参加し、在宅医療に対してどう思われましたか。



問13 医師以外の方にお伺いします。今回の在宅あるある会（情報交換会）に参加し、在宅医療に対してどう思われましたか。



問14 今後、開催してほしいテーマ研修はありますか。
(複数回答可)

病院と施設と在宅にかかわる機関との連携について 14

在宅医療にかかわる職種の教育について 11

在宅医療にかかわる情報共有について 10

在宅でできる検査・処置について 8

在宅での看取り・緩和ケアの実態 7

具体的な診療報酬について 1

0 2 4 6 8 10 12 14 16

問15 今後、在宅あるある懇談会で取り上げてほしい内容があればご記入ください。

ICTについて

施設から見た在宅の様子、在宅←→施設での当事者や家族の変化について

コストの算定について調べるだけではわからないところも多々あり 教えて頂けたら取りこぼしも防げるかなと思います

問16 その他、在宅あるある会(情報交換会)についてのご意見、ご質問があれば、ご記入ください。

グラフィックレコーディングがあることで、文章よりわかりやすかったですし、聞きもらしたところを把握しやすかったですので、助かりました。グラフィックレコーディング素晴らしかったです。見入ってしまいました。ありがとうございました。

皆さんお忙しい中 苦小牧の在宅医療推進のためご尽力感謝です。きっとこの在宅医療が広まっていくと ゆくゆくは自分だったり大切な家族や友人たちが自分らしく最期を迎えられるようになっていくための道を開いていくことになっていくのだと思ってます

在宅主治医、訪問薬局各々の紹介などができるといいでしょう。対応地域含めて共有。。。

第2部はあと10分長くても良かったと思いました。